

2025年3月期 第1四半期 決算説明会

---

# 東海旅客鉄道株式会社

2024年7月30日

# 目次

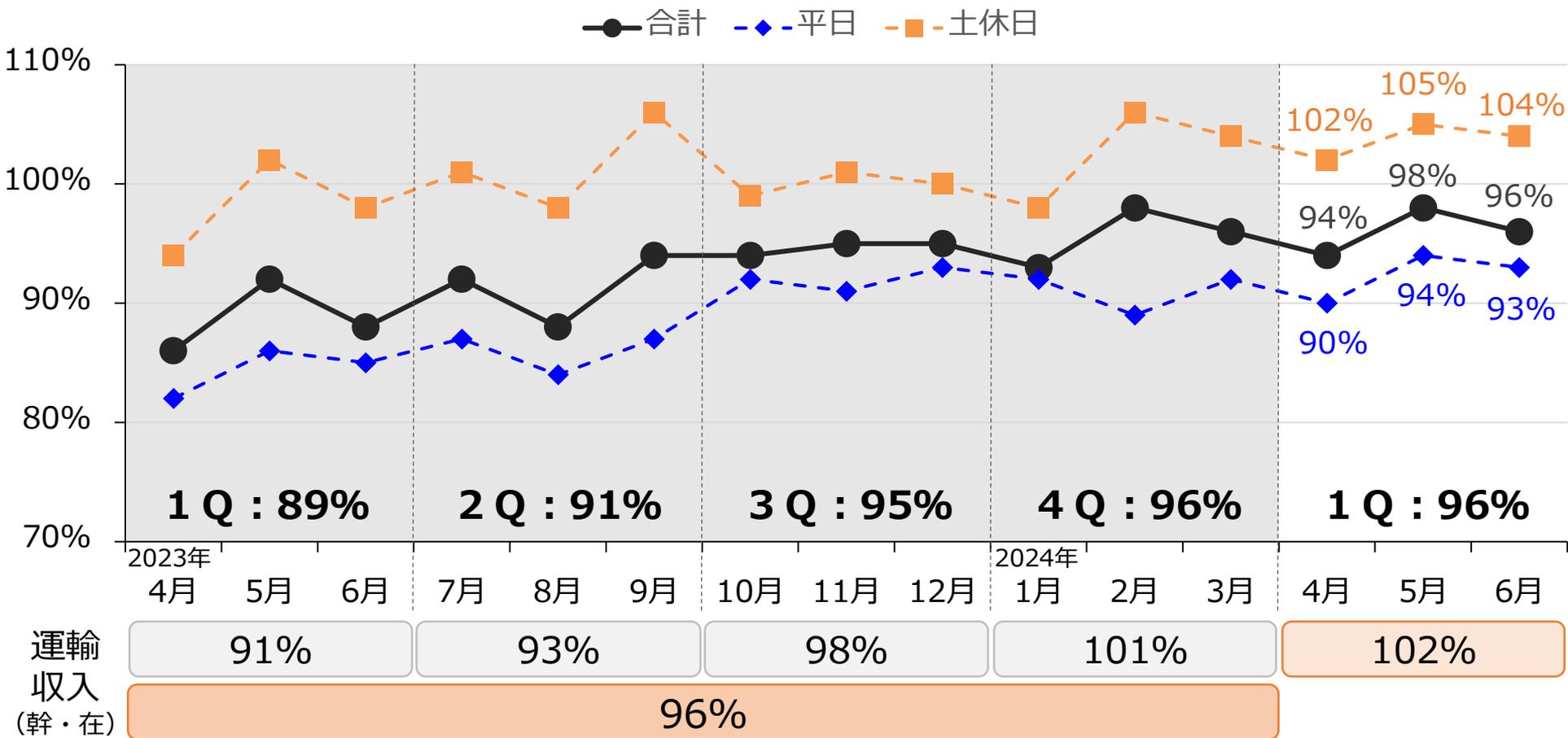
I	2025年3月期第1四半期	決算実績等	… 3
II	各種施策の状況		… 7
III	中央新幹線計画の状況		…13

---

# I 2025年3月期第1四半期 決算実績等

# 東海道新幹線のご利用状況と運輸収入

## ■ 東海道新幹線のご利用状況（東京口、2018年度比）



※2018年度比

- ビジネス利用中心の平日よりも、観光利用中心の土休日が好調な傾向が続く
- 1 Qの運輸収入は、業績予想を172億円上回る

# 比較第1四半期損益計算書【連結】

(単位 億円、%)

	令和5年度	令和6年度	増減	前期比	主な増減要因
<b>営業収益</b>	<b>3,950</b>	<b>4,352</b>	<b>401</b>	<b>110.2</b>	
運輸業	3,223	3,575	351	110.9	運輸収入の増
流通業	360	388	27	107.7	百貨店・駅店舗の売上の増
不動産業	116	124	7	106.5	駅商業施設の賃料収入の増
その他	250	265	15	106.2	ホテル業の売上の増
<b>営業費</b>	<b>2,485</b>	<b>2,509</b>	<b>23</b>	<b>101.0</b>	
<b>営業利益</b>	<b>1,465</b>	<b>1,843</b>	<b>378</b>	<b>125.8</b>	
<b>営業外損益</b>	<b>△ 171</b>	<b>△ 130</b>	<b>41</b>	<b>76.0</b>	
営業外収益	33	72	39	216.4	投資有価証券売却益
営業外費用	205	203	△ 2	98.9	
<b>経常利益</b>	<b>1,293</b>	<b>1,712</b>	<b>419</b>	<b>132.4</b>	
特別損益	△ 1	△ 1	△ 0	135.8	
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>1,292</b>	<b>1,711</b>	<b>418</b>	<b>132.4</b>	
法人税等	378	504	125	133.0	
<b>四半期純利益</b>	<b>913</b>	<b>1,207</b>	<b>293</b>	<b>132.2</b>	
非支配株主に帰属する 四半期純利益	7	9	1	117.3	
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>905</b>	<b>1,197</b>	<b>292</b>	<b>132.3</b>	

(注) 営業収益の内訳は、セグメント別の外部顧客への売上高

# 比較第1四半期損益計算書【単体】

(単位 億円、%)

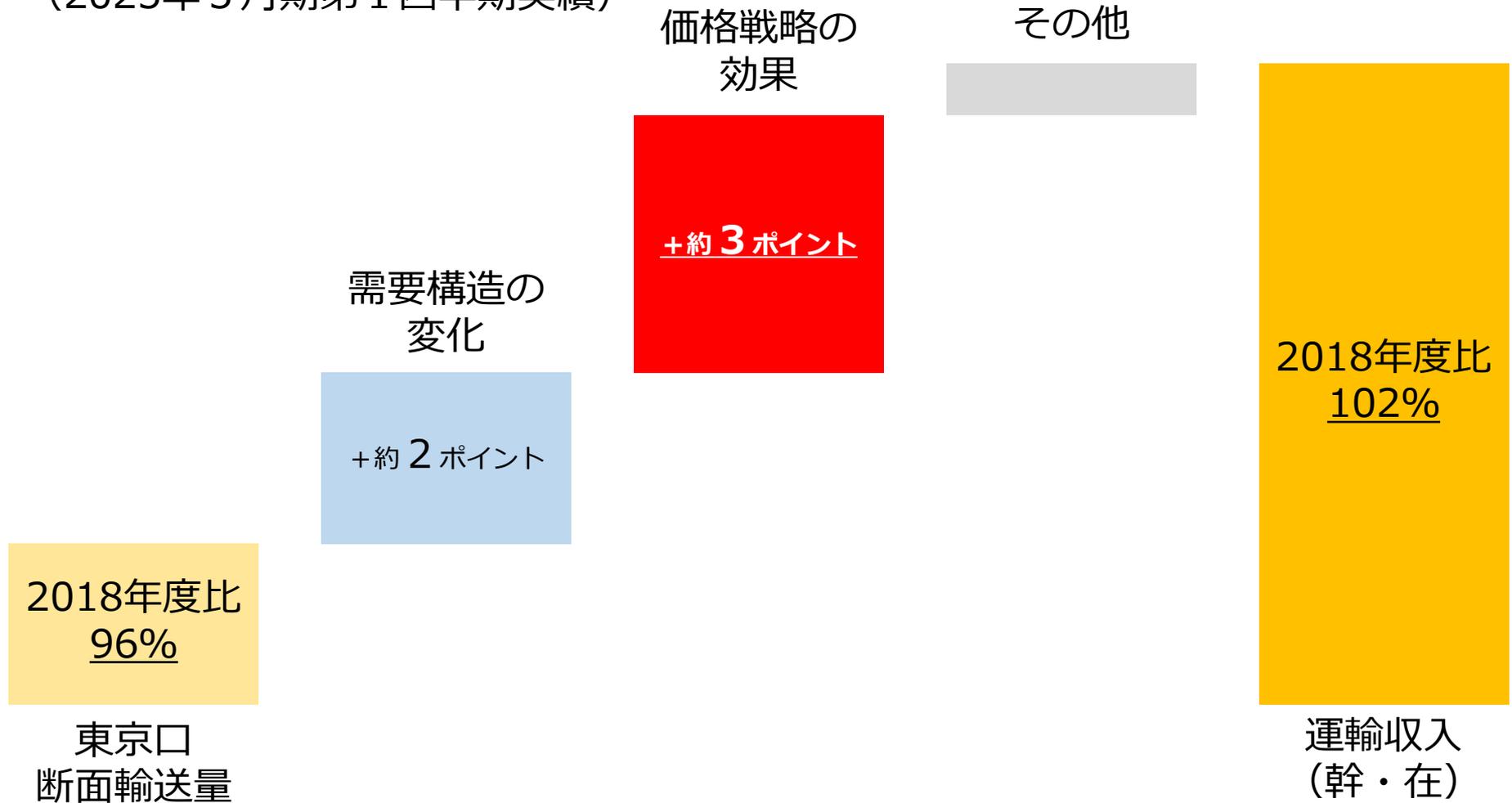
	令和5年度	令和6年度	増減	前期比	主な増減要因
<b>営業収益</b>	<b>3,273</b>	<b>3,626</b>	<b>353</b>	<b>110.8</b>	
うち運輸収入	3,098	3,442	343	111.1	新幹線+322、在来線+21 (参考)平成30年度比 101.6%
<b>営業費</b>	<b>1,897</b>	<b>1,871</b>	<b>△ 25</b>	<b>98.6</b>	
人件費	454	453	△ 0	99.8	ベースアップによる増、退職給付費用の減
物件費	847	853	5	100.7	
動力費	164	134	△ 29	81.9	電力単価の減
修繕費	233	262	28	112.4	新幹線電気修繕の増、在来線施設修繕の増
業務費	450	456	6	101.4	
租税公課	104	111	6	106.3	
減価償却費	491	453	△ 37	92.4	新幹線車両
<b>営業利益</b>	<b>1,375</b>	<b>1,754</b>	<b>378</b>	<b>127.6</b>	
営業外損益	△ 173	△ 135	38	77.9	
営業外収益	33	70	37	212.5	投資有価証券売却益
営業外費用	207	205	△ 1	99.4	
<b>経常利益</b>	<b>1,201</b>	<b>1,618</b>	<b>417</b>	<b>134.8</b>	
特別損益	1	2	0	172.4	
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>1,202</b>	<b>1,621</b>	<b>418</b>	<b>134.8</b>	
法人税等	351	476	125	135.8	
<b>四半期純利益</b>	<b>851</b>	<b>1,144</b>	<b>292</b>	<b>134.4</b>	

---

## Ⅱ 各種施策の状況

# 輸送量対比で運輸収入が好調な要因（戦略的な取組みの効果） 8

- 東海道新幹線東京口断面輸送量と運輸収入（幹・在）の2018年度比指数の分析（2025年3月期第1四半期実績）

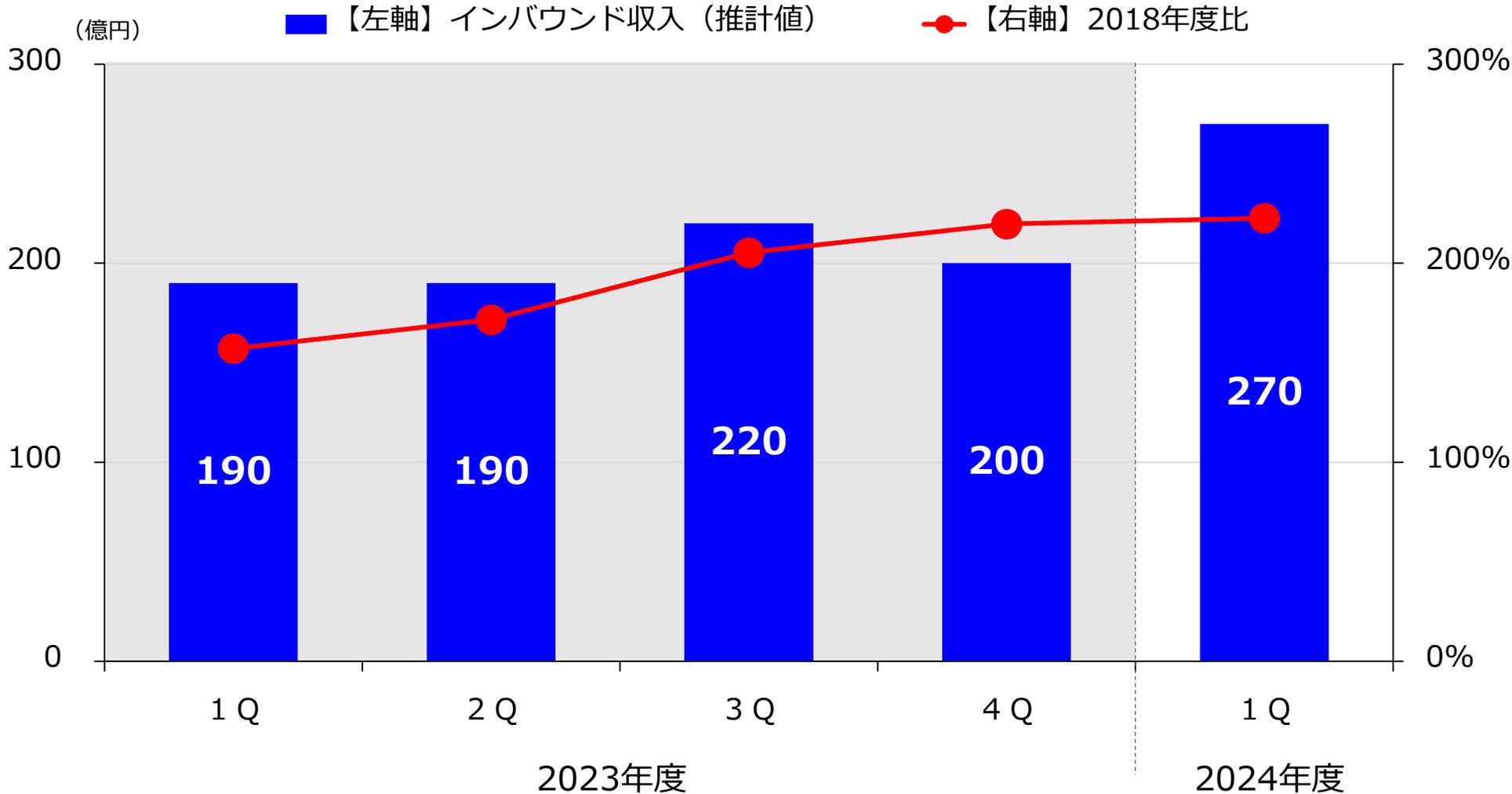


- 需要創出策と単価向上策の組み合わせで運輸収入はコロナ前の水準まで回復
- 更なる上積み施策により、収益の拡大を図る

# インバウンドの状況

○ 1 Q インバウンド収入 (推計値) は約270億円 (2018年度 1 Q比 : 約2.2倍)

※インバウンド収入 (推計値) は10億円未満切捨





あなたと  
新幹線と  
60年。

新幹線は走った。  
ひとびきの背中をそっと押すように。  
新幹線は走った。  
久しぶりの笑顔をいっせいに繋ぎあわせるように。  
新幹線は走った。  
ちいさな命の喜びを伝うように。  
新幹線は走った。  
繋がらなふたりの距離を縮めるように。  
新幹線は走った。  
一人ひとりのかけがえない瞬間とともに。

60年間、  
素敵な思い出をありがとう。  
※本誌掲載期間は2024年10月1日～2024年12月31日までです。



イラスト「あなたと新幹線と60年。」  
(鈴木のりたけ氏 作)



東海道新幹線沿線のまちの魅力を紹介  
(沿線自治体「章」入り新幹線のイメージ)



鈴鹿サーキットと連携した  
「日本グランプリ号」

<p>新幹線スタンプ6個&amp; スポットスタンプ4個でゲット! /</p> <p>ドクターイエロー賞</p> <p>ドクターイエロー(T4編成)の 体験乗車イベントが当たる!*</p> <p>5名 10名</p>	<p>新幹線スタンプ6個&amp; スポットスタンプ3個でゲット! /</p> <p>超電導リニア賞</p> <p>超電導リニアの 体験乗車会が当たる!*</p> <p>10名 20名</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※抽選の対象者には条件有

「わく鉄スタンプラリー」の  
特典 (一部)

- これまでのご愛顧に感謝し、様々な企画を展開
- 当社や東海道新幹線への注目度を高め、更なるご利用の拡大にも繋げる



J R東海「押し旅」×『ポケまぜ』

©2020 Pokémon. ©1995-2020 Nintendo/Creatures Inc. /GAME FREAK inc.  
Developed by Genius Sonority Inc.  
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。



J R東海×「呪術廻戦」コラボ  
「じゅじゅ探訪in京都」



ASIAN KUNG-FU GENERATION  
のライブイベントとのコラボ



東海道新幹線60周年×  
読売巨人軍創設90周年企画

- 「押し旅」施策の積み重ねにより、メジャーコンテンツに連携先が広がる
- 蓄積してきたノウハウを生かし、更なる収益性の向上を図る

## ■カーボンオフセットサービス

- 「貸切車両パッケージ」でのオプション
- 「エクスプレス予約」法人会員向けHP (※) に東海道・山陽・九州新幹線の駅間ごとの一人当たりのCO<sub>2</sub>排出量を公表

(※) [https://expy.jp/expresscard/information/co2\\_emissions/](https://expy.jp/expresscard/information/co2_emissions/)

- 上記のCO<sub>2</sub>排出量を基に、「貸切車両パッケージ」のご利用区間や両数に応じたカーボンオフセットを実施。証明書も発行

CO<sub>2</sub>をオフセット!

駅名	東京			
名古屋	5.1	名古屋		
新大阪	7.8	2.6	新大阪	

一人当たりCO<sub>2</sub>排出量三角表  
(単位: kg-CO<sub>2</sub>)



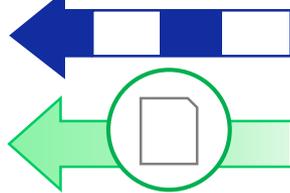
証明書サンプル

## ■東海道・山陽新幹線におけるCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ化のサービス

- 「エクスプレス予約」法人会員に対して、新幹線での移動に伴うCO<sub>2</sub>排出量が実質ゼロとなる国内初のサービスを実施。現在複数社からの問い合わせあり

CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロの  
移動サービスを提供

法人会員



CO<sub>2</sub>削減効果の  
証書発行

追加料金の支払い

電力会社

○ 脱炭素社会への移行に向けたニーズを捉え、収益の拡大に繋げる

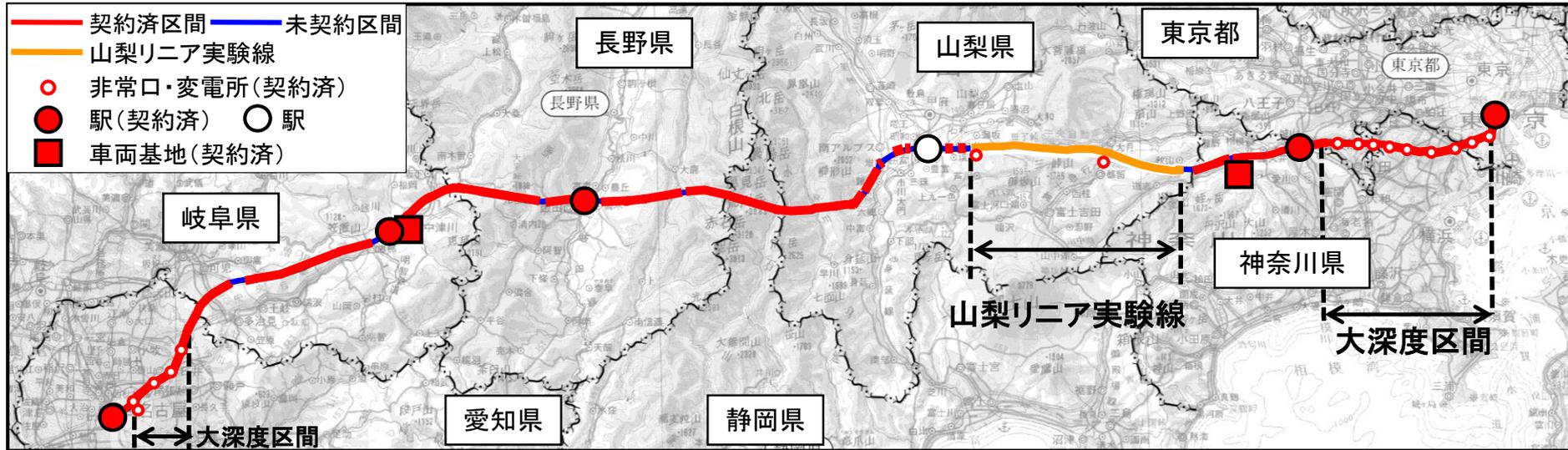
---

### Ⅲ 中央新幹線計画の状況

## 【本体工事契約箇所 (2024.6.30現在)】

※本体工事契約区間等は概ねの位置を示したものです。

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の100万分の1日本を複製したものです。(承認番号 平25情複、第310号)



名古屋駅  
(中央西工区)  
地下駅舎の柱の建込み



伊那山地トンネル  
(戸中・壬生沢工区)  
本坑掘削工



釜無川橋りょう  
上部工



第一首都圏トンネル  
(梶ヶ谷工区)  
本格的な掘進

## 【南アルプストーンネル 静岡工区】

### 《大井川の水資源及び南アルプスの生態系等の環境保全に関する取組み》

- 水資源と環境保全に関する国の有識者会議の報告書に基づいて、静岡県や静岡市等と意見交換を重ねています。
- 5月13日に静岡県地質構造・水資源部会専門部会が開催され、現在進めている高速長尺先進ボーリングについて、技術的観点からリスク管理ができているとの確認がなされました。
- 6月5日に新たに就任された鈴木静岡県知事と社長が面会しました。

### 《リニア中央新幹線静岡工区モニタリング会議》

- 6月12日に開催された第3回「リニア中央新幹線静岡工区モニタリング会議」において、静岡県との対話の状況等を報告しました。
- モニタリング会議の委員には、6月12日に静岡工区の発生土置き場、工事ヤード、田代ダム等を、7月15日に山梨工区の高速度長尺先進ボーリング調査の状況等を視察いただきました。



モニタリング会議委員による  
静岡工区の現地視察

## 【大深度区間のシールドトンネル工事】

- 5月27日に第一首都圏トンネル梶ヶ谷工区において、中央新幹線のシールドトンネル工事として初めて、本格的な掘進を開始しました。
- 第一首都圏トンネル小野路工区、第一中京圏トンネル坂下西工区等において、調査掘進を進めています。



第一首都圏トンネル（小野路工区）  
調査掘進

本資料に記載されている将来の計画や見込み数値等は、当社が現在入手可能な情報に基づく見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。潜在的なリスクや不確実性の例としては、経済動向や事業環境、消費動向、当社および子会社における他社との競合状況、法律や規制等の変更等が挙げられます。

# (参考) 令和6年度第1四半期セグメント情報

(単位 億円、%)

	令和5年度	令和6年度	増減	前期比
<b>営業収益</b>	<b>3,950</b>	<b>4,352</b>	<b>401</b>	<b>110.2</b>
運輸業	3,250	3,603	352	110.9
流通業	377	411	33	108.8
不動産業	196	203	7	103.8
その他	535	531	△ 4	99.2
調整額	△ 409	△ 396	12	97.0
<b>セグメント利益 (営業利益)</b>	<b>1,465</b>	<b>1,843</b>	<b>378</b>	<b>125.8</b>
運輸業	1,354	1,735	380	128.1
流通業	26	34	8	130.1
不動産業	58	61	2	104.6
その他	23	5	△ 18	22.0
調整額	2	6	4	288.0

(注) 1. セグメント別の営業収益は、外部顧客への売上高のほか、他セグメントへの売上高を含む

2. 「調整額」欄は、セグメント間取引の相殺消去

# (参考) 主な子会社の実績 (連結修正前)

## ○実績

(億円)

	営業収益			営業利益			経常利益		
	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前期比	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前期比	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前期比
JR東海高島屋	133	158	118.1%	13	23	170.4%	14	24	168.6%
JRセントラルビル	79	78	98.9%	9	8	93.0%	9	8	94.3%
JR東海ホテルズ	61	69	112.6%	5	9	164.2%	5	9	166.8%
日本車両	206	208	101.0%	13	1	7.6%	15	3	25.0%

日本車両 四半期純利益 15 5 34.7%

# (参考) 輸送量の推移 (月次利用状況・多客期利用状況)

## ◆月次利用状況 Monthly passenger volume

(%)

期間 Period	新幹線 Shinkansen						在来線 Conventional Railway		
	東京口 Tokyo Gate					大阪口 Osaka Gate	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	平日 Weekdays	土休日 Weekends			合計 Total
24/04	109 (94)	114 (99)	97 (84)	105 (85)	110 (90)	109 (102)	109 (96)	105 (89)	105 (94)
24/05	106 (98)	108 (102)	98 (90)	103 (90)	109 (94)	102 (105)	105 (100)	99 (89)	106 (93)
24/06	109 (96)	113 (102)	96 (86)	105 (87)	109 (93)	106 (104)	109 (100)	103 (88)	101 (91)
24/04-06	108 (96)	112 (101)	97 (87)	104 (87)	110 (92)	104 (103)	107 (99)	102 (89)	104 (93)

## ◆多客期利用状況 (東京口) Passenger volume during the peak holiday seasons (Tokyo Gate)

・ゴールデンウィーク “Golden Week” Holidays

期間 Period	新幹線 Shinkansen				在来線 Conventional Railway	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area
4/26~5/6	102 (99)	101 (100)	106 (100)	101 (93)	98 (84)	107 (95)

(※1)カッコ内は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の2018年度との比較。

Note1: Numbers in parentheses are compared to FY2018 (before the decline due to the COVID-19 pandemic).

(※2)新幹線・在来線特急等は特定の駅間における月累計断面輸送量の対前年比。

在来線名古屋近郊は自動改札集計による乗車人員合計の対前年比。※多客期においては定期外の乗車人員に限る。

Note2: The data of the Shinkansen and Express is based on the total passenger volume of each month at certain points.

The data of the Nagoya area is based on the passenger ridership of each month counted by automatic ticket gates.

※The data of the Nagoya area regarding the peak holiday seasons is based on the passenger ridership excluding commuter passes.

# (参考) 月次営業概況 (商業施設・ホテル)

## ◆商業施設

### Commercial Facilities

ジェイアール名古屋タカシマヤ、及び  
タカシマヤ ゲートタワーモール

JR Nagoya Takashimaya and  
Takashimaya Gate Tower Mall

期間 Period	売上高合計 2025年2月期 (百万円) Total Sales FY2024: 2024.3~2025.2 (Millions of Yen)	前年同月比 (%) YoY Comparison
24/03	19,158	113.9
24/04	16,311	113.9
24/05	17,393	119.6
24/06	18,327	126.6

## ◆ホテル

### Hotels

名古屋マリオットアソシアホテル

Nagoya Marriott Associa Hotel

名古屋JRゲートタワーホテル

Nagoya JR Gate Tower Hotel  
(※)

期間 Period	稼働率 (%) Occupancy Rate	前年同月比 増減 YoY Inc./Dec.	稼働率 (%) Occupancy Rate	前年同月比 増減 YoY Inc./Dec.
24/04	79.5	6.8	84.1	-0.6
24/05	77.4	6.0	81.0	-0.3
24/06	76.2	3.9	86.6	3.8

(※) 各月の数値は速報値のため、確定値とは異なる場合がある。

Note: The number for each month comes from a quick estimation, which might differ from the actual results.